

芸術科（音楽Ⅰ）学習指導案

単元	ヴァイオリン演奏にチャレンジ		教科書	MOUSA①		
指導目標	1	ヴァイオリンについての知識や基本的な奏法を身に付ける。 (知識及び技能)	指 導 計 画	1	各部の名称、チューニング・・・2時間	
	2	ヴァイオリンの音色や響きを感じ取り、楽曲にふさわしい表現の工夫をすることができる。 (思考力、判断力、表現力等)		2	開放弦で弾いてみよう・・・2時間 (本時はその1時間目)	
	3	ヴァイオリンの音色や奏法に関心を持ち、意欲的に表現活動に取り組むことができる。 (学びに向かう力、人間性等)		3	パッヘルベルのカノン・・・3時間	
				4	きらきら星・・・3時間	
				5	喜びの歌・・・3時間	
本時の	主 題	ヴァイオリン演奏にチャレンジ				
	本時の 目 標	より良いヴァイオリンの基本的な奏法を身に付け、美しい音色や響きを引き出そう。				
	課 題	ヴァイオリン教本のp.3～p.9まで読んでおく。				
時 の 指 導 過 程	学 習 活 動		時間	留意事項など(ALの視点を含む)	評価基準・方法、資料等	
	導 入	1 前時の確認	3	・前時までの取り組みを確認させる。	・パソコン ・プロジェクター	
		2 本時の目標の確認	2	・本時の目標の確認をさせる。		
	展 開	1	チューニングをする。	5	・バーチャルピアノを開き、チューニングさせる。	・パソコン
		2	「開放弦で弾いてみよう」の鑑賞をさせる。	2	・奏法や音色に注目させる。	【評価規準】 A 改善ポイントに気付いており、基本的な奏法を身に付けるための言語化ができていない。 B 改善ポイントに気付いているが、基本的な奏法を身に付けるための言語化ができていない。 C 改善ポイントに気付いておらず、基本的な奏法を身に付けるための言語化もできていない。
		3	「開放弦で弾いてみよう」のボーイング練習をする。	10	・上げ弓や下げ弓など、楽譜に書き込ませ練習させる。	
		美しい音色で奏でるために、身体をどのように動かせばよいか。				
	4	ヴァイオリンの弾き方について考える。	15	・ペアで録画を行い、姿勢や奏法について参考動画と比較させ、美しい音色で奏でるための奏法を気付かせる。		
	5	4で考えたことを踏まえて練習する。	10	・一人一人の生徒の状況に合わせて助言を行う。	【評価方法】 ○ロイロノート	
整 理	1	本時のまとめ	3	・本時の感想を記入させる。		
備 考	(男子：11名 女子：8名) 生徒数 19名					